

授業科目名・形態	基礎演習	演習	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	中里 操・佐藤公彦・白男川 尚 脇山園恵・林 宏二・道端忠孝	開講期	1 年前期	単位数	1

【授業の主題】

大学で学ぶことの意義及び大学における学習を順調に進行させる効果的な学習方法（学習技術）について体系的に学びます。毎回授業と演習（簡単なテスト方式）をまじえて実施する。最終的に学術的レポートの作成意義およびレポート内容のプレゼンテーション重要性を理解して、課題についてレポートの作成とその内容についてのプレゼンテーションを行います。

【到達目標】

- 1) 学生としての自覚（自立した学習意欲）を促進する。
- 2) 学習技術を身に着け、レポートの作成とプレゼンテーションができるようになる。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 基礎演習概要と大学生の学習技術
- 第 2 回 ノート・テイキング。リーディングの基本スキル
- 第 3 回 より深いリーディングのための要約
- 第 4 回 ワードプロによる要約文の作成
- 第 5 回 考えを文章で表現する
- 第 6 回 大学図書館の利用・活用（情報収集および整理）
- 第 7 回 インターネットによる情報収集・整理
- 第 8 回 レポート（アカデミック・ライティング）作成の基本スキル
- 第 9 回 文献のリーディング・資料分析。自己の主張を分かりやすく表現する
- 第 10 回 レポートの作成・ワードプロ化
- 第 11 回 推敲、提出
- 第 12 回 プレゼンテーションの基本スキル
- 第 13 回 パワーポイントに上るスライド作成
- 第 14 回 プレゼンテーションの練習
- 第 15 回 プレゼンテーション

【授業実施方法】 演習形式で行う。

【授業準備】 レポート作成課題等を忘れずに作成し、授業に臨むこと。

【主な関連する科目】

【教科書等】

学習技術研究会編「知へのステップ第4版—大学生からのスタディ・スキルズ」くろしお出版（2015）

【参考文献】

A.W.コーンハウザー（山口英一訳）1995『大学で勉強する方法』玉川大学出版部

【成績評価方法】

課題提出 50%、授業態度・出席状 50%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

学生生活が楽しくなるように、大学における学習方法（客観性を認識し自己の意見を組み立てる）を理解し大学生という新しい世界を切り開いて下さい。